No.12 株式会社まちから

インパクトレポート (1枚目)

100年後もあったらいいな。を海辺で生み続ける



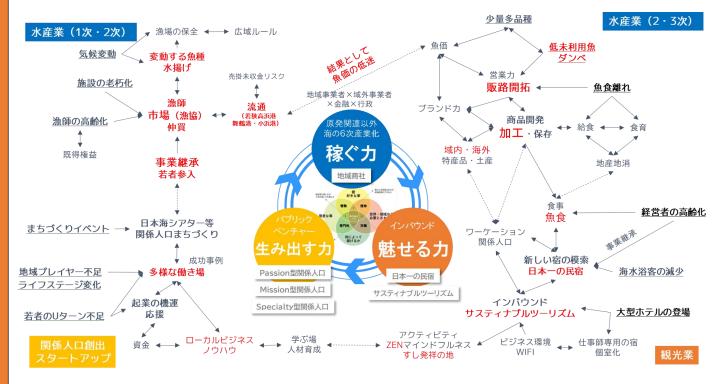
まちから **Impact Report**

2019-24インパクトレポート

インパクトレポート (2枚目)

エコシステムが注力する地域課題

- ・ 水産業の衰退と海の6次産業化 『食卓から魚が消える』まったなしの現状を変える
- 水産業を基盤とした関係人口の増殖とローカルビジネスの育成 人が魅力を感じ集まりだす。 ローカルビジネスを生み続ける仕組みが必要



<地域課題の構造分析の概要>

水産業の1次(獲る)と2次(流通)は両 方がWINWINな関係でないと市場機能が低 下する。2次(加工)と3次(販売)も密接 な関係である方が、魚を無駄なく使うことにつな がり、結果として経営が安定していく。

1次(獲る)~3次(販売)が、組織は違 えど、同じ方向を向くことが重要。

高浜町の産業構造として水産業だけでは成立しにくく、もう一つの強みである民宿 (観光) と、いかに多く接点を持てるかが重要なポイント。

人材の獲得という視点からも、関係人口を巻き込んだプロジェクトを生み続けることで、高浜に魅力を感じ、関係性を深めるケースがある。

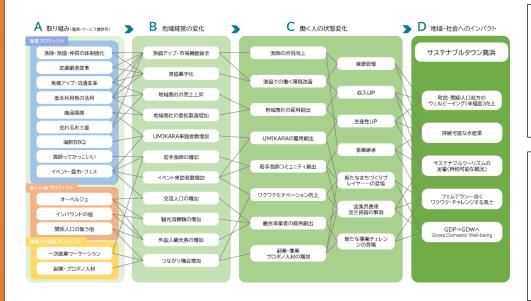
<ヒアリングでの声>

仲買)漁師さんに鮮度良く持ってきてもらい、一匹の魚の命に対して付加価値を付け流通させる。そして、いい手間をかけて加工し売る。高浜をもっともっと、鮮魚から加工品までバラエティーに富んだ元気な浜にしていく必要がある。

加工業者)獲る人、市場機能、販売機能の 3つは、必須で、三方良しのビジネスを心掛け ないといけない。その出発点は、いい魚を漁師さ んに持ってきてもらうことからはじまる。

インパクトレポート (3枚目)

海業から生業へ ~サステナブルタウン高浜の実現~



地魚全量活用・海外販路を見据えた加工場のリニューアル エリア企画創造事業部の新設

【域外循環】 御食国3.0

(水産加工、 6次化、 地域商社)

- ・ 若狭高浜エリアにおける食文化、資源管理、まち づくりを融合させ、持続可能なエリア形成を図る。
- 海業としての6次産業化と、地域商社を中心とした 販売展開の成長と新たな事業モデルを推進する。
- 海外販路を見据えたHACCP認証取得
- 若狭高浜港ブランドの継続

【域内循環】 漁具倉庫五 十貨店構想

(地域商社)

- 塩土エリアにある漁具倉庫を活用した商業、ビジネスが集積したビレッジ構想を立ち上げる。
- 域内の賑わいとチャレンジできる場として「コト・モノ・ ヒト」が交わる漁村エリアを再興する。
- 新たな交流拠点を軸に海業振興モデル地区として 「海業」の研究・学びを推進できる場を設置する。
- 観光×水産のミックス。日本一の民宿を創出

高浜漁協からのまちから仕入れ額

1.66倍

(対2023年)

新たな宿の誕生数(事業継承含む)

6軒

(2019年6月~2025年2月末時点)

サステナブル商品(低未利用魚商品など) ローカルビジネスをはじめた人の数

0 ⇒28商品

2

(2019年10月) (2024年5月末)

(2025年2月末時点)

<インパクトストーリー>

株式会社まちからとしては、高浜らしい地域商社のあり方として、こうした地域内外の人たちのヒト・モノ・コト、つまり『関わりしろ』を増やし、つなぎ、「ありがとう」と「笑顔」があふれる『感謝の循環』を高浜町から発信できればと考えています。そして、商品を通じて、感謝の気持ちのこもったサステナブルな地域ブランドを創っていきたいと思います。

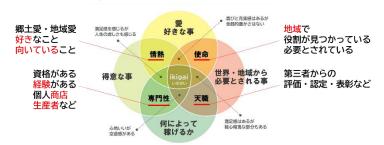
「100年後もあったらいいな」を感謝と共にお届けする。 そんな持続的なアクションを続けていきます。

インパクトレポート (4枚目)

私たちのビジョン ikigaiモデルを生み続ける

関係人口を創るikigaiモデル 関係人口を海辺の町で生み続ける

passion mission specialty 情熱×使命×専門性⇒天職



まず、情熱・使命・専門性の3つを育てていくことが大切

ローカル・ゼブラ企業の3つの素養でもある

情熱・使命・専門性のうち 地域との関係性の深化 2つを組み合わせると、関係人口化する 高浜の『あしたあったらいいな』を実践しよう!(+使命 ⇒未来につながるイベントをしよう。<a>©にほん海シアター Passion型関係人口 ⇒子ども達と未来を。<mark>@コドモアスケン</mark> 海業モデルを構築し、日本の活性化を高浜から実現したい(+使命) Mission型関係人口 ⇒地域商社の<mark>伴奏</mark>支援。五十貨店構想を共に実現。 ⇒水産業×観光×地域交通の誕生 漁具倉庫面白い!建築家として何かしたい。(情熱と専門性を高浜でマッチング) ⇒五十貨店構想。 Specialty型関係人口 漁師って肩書も面白い!(ローカル専門性との出会い) ⇒半漁半X:漁師建築家/漁師猟師ときどきイベンター 交流人口 主に情熱と専門性を持っている人材が多い 組み合わせに ひと:組み合わせるコーディネーター地域人 欠かせない 漁村文化に興味あり もの:出会う。気づく。2つを組み合わせる場 イベントと地域活性に関心あり こと: Well-being視点 PERMAモデルの導入 (Positive/Engagement/Relationships/Meaning/Accomplishment) ポジティブな感情/全体的に関わる/よい人間関係/意義・意味/達成・熱練 ⇒一次産業ワーケーション®TUNAGU (社会人) 設計事務所に勤務(都市部) イベントデザイン会社に勤務(都市部) ⇒ Eduワーケーション (学生) 料理人/食のアドバイザー/マーケティング(都市部)

ライフスタイルデザイン会議・観光会議・勉強会→コ ンソーシアムで再検討→インパクト戦略を策定



- ・サスティナブルツーリズム の必要性
 - ・Well-being って何
- ・民宿、漁師の悩み

・水産と観光の融合って

・朝、魚を見て、その日の 民宿のメニューにお客さんが 選んだ魚が出るとか

- ・漁具倉庫の活用
- ・日本一の民宿って

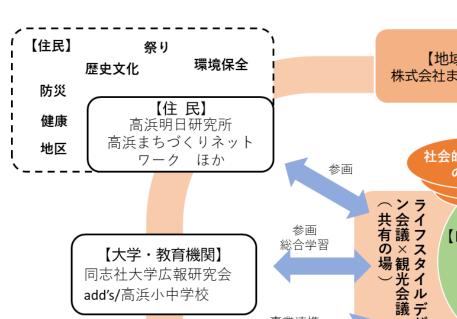


事業成果と今後の展望

①関係人口(Passion型関係人口、Misson型関係人口、Specialty型関係人口)を生み続ける。そして、事業化していく。 ②若狭高浜港の市場機能を活性化する。そのための加工機能の強化。 ③100年後もあったらいいな。海辺の暮らしからはじまる物語をみんなで続けること

インパクトレポート (5枚目)

地域課題を解決する 連携体制(エコシステム)



【地域中間支援者】 株式会社まちから(地域商社)

> 社会的インパクト の可視化

【ローカル・ゼブラ企業】 地域商社 (株式会社まちから)

地域課題:事業継承 スタートアップ
収益化

【高浜町】 協業・支援

産業振興課/総合政策課 一社) 若狭高浜観光協会 若狭高浜漁業協同組合

社会的インパクトに 係るデータ分析

協業・支援

【データ事業者】 一般社団法人日本ウェル ビーイング推進協議会

融資・経営支援

【域内企業】 株式会社うみから

【域内企業】 山惣ホーム

【域内企業】 fuuリゾート

事業連携

人材連携

事業連携

人材連携

【他の域内企業】

伴走支援

【伴走支援事業者】 一般社団法人 日本ウェルビーイング推進協議会

関係人口企業 副業・プロボノ人材 専門的な立場からノウハウや資金等を支援

【連携アドバイザー】株式会社GHIBLI

【金融機関】